

サーバ診断カルテ 活用ガイド

Revision 3.2

2019 年 1 月 11 日

日本電気株式会社



目次

目次	2
商標について	3
ご注意	3
関連文書/関連サイト	4
改版履歴	4
1. はじめに	5
2. サーバ診断カルテサービスのご利用について	6
2.1. サーバ診断カルテサービス提供対象	6
2.2. サーバ診断カルテサービスのご利用手順について	6
2.3. サーバ診断カルテの参照方法について	9
2.4. お問い合わせ先	14
3. サーバ診断カルテのできる仕組み	15
3.1. モジュールのインストール	15
3.2. ログの収集タイミング	16
3.3. ログの送信	16
3.4. サーバ診断カルテの作成	17
4. サーバ診断カルテの説明	18
4.1. 概要	18
4.2. 診断結果	19
4.3. リソース情報の表示内容	20
4.4. ハードウェアセンサ情報の表示内容	22
4.5. ハードウェアログ情報	23
4.6. ハードウェア構成情報の表示内容	24
4.7. ソフトウェア構成情報の表示内容	25

商標について

- ESMPRO は日本電気株式会社の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Server は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel、インテル、Intel vPro は Intel Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Linux は、Linus Torvalds 氏の米国及びその他の国における商標または登録商標です。
- その他、記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- 弊社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
- 運用した結果の影響については責任を負いかねますのでご了承ください

関連文書/関連サイト

名前	掲載先
ExpressSupportPack G4	http://jpn.nec.com/express/supportpack/espg4
NEC エクスプレス通報サービス ご利用の手引	https://acc.express.nec.co.jp/notice/man/guide.htm
エクスプレス通報サービス	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010102124
サーバ診断カルテモジュール・ セットアップガイド (Windows 対応版)	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010106809
サーバ診断カルテモジュール・ セットアップガイド (VMware ESXi 対応版)	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010107805
ESMPRO	http://jpn.nec.com/esmsm/
NEC サポートポータル	https://www.support.nec.co.jp/

改版履歴

日付	Revision	変更内容
2017/11/10	1.0	初版リリース
2017/11/14	1.1	対象機種情報を更新
2018/02/23	2.0	診断結果の記載を追加
2018/11/02	3.0	診断結果の記載を更新、VMware ESXi 対応を追記、 申込み手順を修正
2018/11/12	3.1	誤記修正
2019/01/11	3.2	2.1 章 対象機種を追記。4.2 章 OS による表示項目差分を追記。

1.はじめに

本資料は、NEC の Express5800 サーバの保守サービス(ExpressSupportPack G4 またはハードウェアメンテナンスサービスの保守契約)の一機能として提供される、「サーバ診断カルテ」の活用方法について記載したものです。

2.サーバ診断カルテサービスのご利用について

本章では、サーバ診断カルテサービスの提供対象やご利用開始までの流れについて説明します。

2.1.サーバ診断カルテサービス提供対象

サーバ診断カルテサービスをご利用頂く為には以下の項目を満たす必要があります。

No.	条件
1	ExpressSupportPack G4 をご購入頂いていること。
2	対象機種： Express5800/R120h-1M、Express5800/R120h-2M、 Express5800/D120h(サーバモジュール)、Express5800/T120h、 Express5800/R120h-1E、Express5800/R120h-2E、 Express5800/R110j-1、Express5800/T110j、Express5800/T110j-S
3	対象 OS： ・ Windows Server 2012 R2、Windows Server 2016 ・ VMware ESXi 6.5

2.2.サーバ診断カルテサービスのご利用手順について

サーバ診断カルテサービスのご利用手順について記載します。

なお、2018 年 11 月 6 日以降に NEC サポートポータル (<https://www.support.nec.co.jp/>) から ExpressSupportPack G4 の登録およびエクスプレス通報サービスのお申込みを行った場合、下記手順 No.1,2 のみを実施してください。それ以外の方は、下記手順 No.1~4 すべてを実施してください。

No.	手順	手順説明
1	エクスプレス通報を開局する。	エクスプレス通報サービスを HTTPS 方式で開局する(モデム方式、メール方式は対象外です。 開局手順については、以下 URL よりエクスプレス通報サービス ご利用の手引きご確認ください。 https://acc.express.nec.co.jp/notice/man/guide.htm
2	必要モジュールをセットアップする。	サーバの OS 上に必要モジュールをセットアップする。 モジュールおよびセットアップガイドは以下 URL よりダウンロードしてください。 https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010106809

No.	手順	手順説明
3	お客様登録を行う。	<p>下記のお客様登録サイト(ClubExpress、タウンパスポート)にて以下登録が完了していること。</p> <p>お客様登録サイト：http://acc.express.nec.co.jp/Main/main.asp</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お客様登録(未登録の場合) ・新規購入品登録 ・システムコード(保守の機器管理番号)の登録
4	サーバ診断カルテサービスの利用をメールで申し込む。	<p>以下の必要事項をメールにご記入頂き、下記宛先までお申込みをお願いします。お申込手続きが完了すると、メールが通知されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宛先：karute-uketuke@express.jp.nec.com ・メール件名：サーバ診断カルテの申込み ・必要事項： <ul style="list-style-type: none"> (1). ClubExpress(タウンパスポート)の会員登録番号 (2). サーバ診断カルテサービス対象機器(サーバ本体)の型番 (3). サーバ診断カルテサービス対象機器(サーバ本体)のシリアル番号(号機番号) (4). サーバ診断カルテサービス対象機器(サーバ本体)の保守のシステムコード(保守の機器管理番号) (5). システム名 (6). 本登録キー（任意の数字 4 桁）(※) <p>※本登録キーは NEC サポートポータルへのログイン時に使用する仮ユーザ ID を本登録するための番号です</p>

手順 No.4 に関する注意

- サーバ診断カルテサービス対象機器（サーバ本体）が、複数台ある場合、上記(2)～(4)を 1 組として繰り返しご記入ください。
- サーバ本体の型番、シリアル番号は正確にご記入お願い致します。
- 仮ユーザ ID は、手順 No.4 の手続き完了後に通知される『サポート ID/ユーザ ID のお知らせ』メールに記載されています。
- ClubExpress の会員の方が、手順 No.4 の申込者と異なる場合は、ClubExpress 会員の方に本登録キーをお伝えください。
- ExpressSelectionPack（型番上 2 桁が NP）の場合、カルテのお申込みおよび ClubExpress の製品登

録は、保証書に記載のサーバ本体の型番（型番上 2 桁が N8）を使用してください。

2.3. サーバ診断カルテの参照方法について

本章では、サーバ診断カルテの参照方法を記述します。

なお、画面イメージは予告なく変更される場合があります。

1. 以下の URL をクリックし、NEC サポートポータルにアクセスします。

<https://www.support.nec.co.jp/>

2. 「ログイン」からログインを行います。



- ※ ログインには、NEC サポートポータルのユーザ ID、パスワードが必要です。

NECサポートポータルから ExpressSupportPack G4 の登録を行った方は、登録後の通知メールに記載されます。それ以外の方は 2.2 節の手順 4 までを進めていただき、担当窓口の手続き完了後、送付する通知メールに記載されます。詳しくは次の web ページをご確認ください。

[FAQ]ユーザ ID やパスワードはどのように連絡されますか？

<http://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3150103246>

3. 以下の画面が表示された場合は、ユーザ ID を本登録いただくことで、サーバ診断カルテが参照可能になります。本登録の手順は次の web ページを参考に、実施してください。

ユーザ ID 本登録のご説明と登録手順

<http://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3030100008>

※ 本画面が表示されない場合は手順 4. に進んでください。



NEC NECサポートポータル

NECサポートポータル内検索

ログアウト
*****様

サポートサービスについて お問い合わせ サポート情報 ご契約確認・各種手続き

トップ > ログイン完了

仮ユーザIDログイン

お使いのユーザIDは仮ユーザIDです。
ユーザIDの本登録を行ってください。

- ユーザIDの本登録はこちら

ユーザIDの本登録についての詳細は[こちら](#)をご覧ください。

仮ユーザIDのままログインする場合以下をクリックしてください。

- [あとで本登録する](#)

仮ユーザIDでは利用できる機能に制限があります。
[ユーザIDの本登録前の制限機能](#)をご参照ください。

🔼 ページの先頭へ戻る

会社概要 | 個人情報保護 | ご利用条件 | お問い合わせ

Copyright © NEC Corporation 1994-2018. All rights reserved.

4. ログイン後の TOP ページ上部から、「サポート情報」→「サーバ診断カルテ」を順にクリックします。



5. 以下の画面が表示された場合は、参照したい機器の契約が紐づいたサポート ID のラジオボタンをクリックし、「次へ」をクリックします。

※ 本画面が表示されない場合は手順 6. に進んでください。



6. 機器とサーバ診断カルテの一覧画面が表示されます。参照したい機器の稼動月をクリックしますと pdf 形式でサーバ診断カルテが表示されます。

NEC NECサポートポータル

NECサポートポータル内検索

ログアウト

サポートサービスについて お問い合わせ サポート情報 ご契約確認・各種お手続き

トップ > サーバ診断カルテ・サポートID選択 > サーバ診断カルテ・カルテ参照

サポート情報

サーバ診断カルテ・参照

1カ月ごとのカルテを掲載しております。ご参照されたいカルテをクリックしてください。
カルテをダウンロードすることが出来ます。

表示項目の説明

サポートID情報

サポートID XXXXXXXX1

お客さま名 *

システム名 *

以下の条件で絞り込んで検索

型番

検索結果：2件中1～2件を表示

表示項目の説明

1/1ページ 表示件数 10件

型番	品名
製造番号 (シリアルNo.)	構成名
N8100-2562Y	Express5800/R120h-2M 8x2.5型ドライブモデル
*****	*****
2017年	2018年
カルテ	カルテ
10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月	10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月
N8100-2562Y	Express5800/R120h-2M 8x2.5型ドライブモデル
*****	*****
2017年	2018年
カルテ	カルテ
10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月	10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月

1/1ページ 表示件数 10件

戻る

ページの先頭へ戻る

会社概要 個人情報保護 ご利用条件 お問い合わせ

(イメージ画像)

Orchestrating a brighter world

NEC

'18/1サーバ診断カルテ

モデル: Express5800/D120h
型番: N8100-2285Y
機種番号: SN00001

作成日時: 2018/02/22 12:04:21

1. 診断結果

1) 総合診断結果

ハードウェア診断結果

リソース診断結果

要確認(警告)

異常

2) ハードウェア診断結果

要確認(警告)。対処は不要ですが、確認が必要な現象が発生しました。下の表を確認し、必要に応じて販売店または保守会社に相談してください。

FAN

FANセンサの値が、警告を示す上限値を上回った期間があります。FANのグラフおよび診断コメントを確認してください。

温度

温度センサの値は正常な範囲内です。

電圧

電圧センサの値は正常な範囲内です。

1 / 32

4. ハードウェア構成情報

1) 製品情報

モデル名

Express5800/D120h [N8100-2285Y]

型番

N8100-2285Y

シリアル番号

1234567

UUID

DB938000-FD74-11E7-8000-1C1B0D66A882

2) BIOS情報

BIOSバージョン

F12

リリース日

20170731

3) メモリ情報

総容量

32768 MB

4) システムマネジメント情報

UUID

db938000-4d74-11e7-8000-1c1b0d66ab82

IPMIバージョン

2.0

BMC FWバージョン

1.20

5) ベースボード情報

プロダクト名

MH61-HD0-NJ

バージョン

00020002

シリアル番号

01234567890123456789AB

6) シャーシ情報

種別

Rack Mount Chassis

バージョン

CBZ-010633-003

シリアル番号

HG5P6400009

7) CPU情報

CPUバージョン

-

コア数

14

有効コア数

14

スレッド数

28

L1キャッシュサイズ

896 KB

L2キャッシュサイズ

14336 KB

L3キャッシュサイズ

19712 KB

CPUバージョン

-

コア数

14

有効コア数

14

スレッド数

28

L1キャッシュサイズ

896 KB

L2キャッシュサイズ

14336 KB

17 / 32

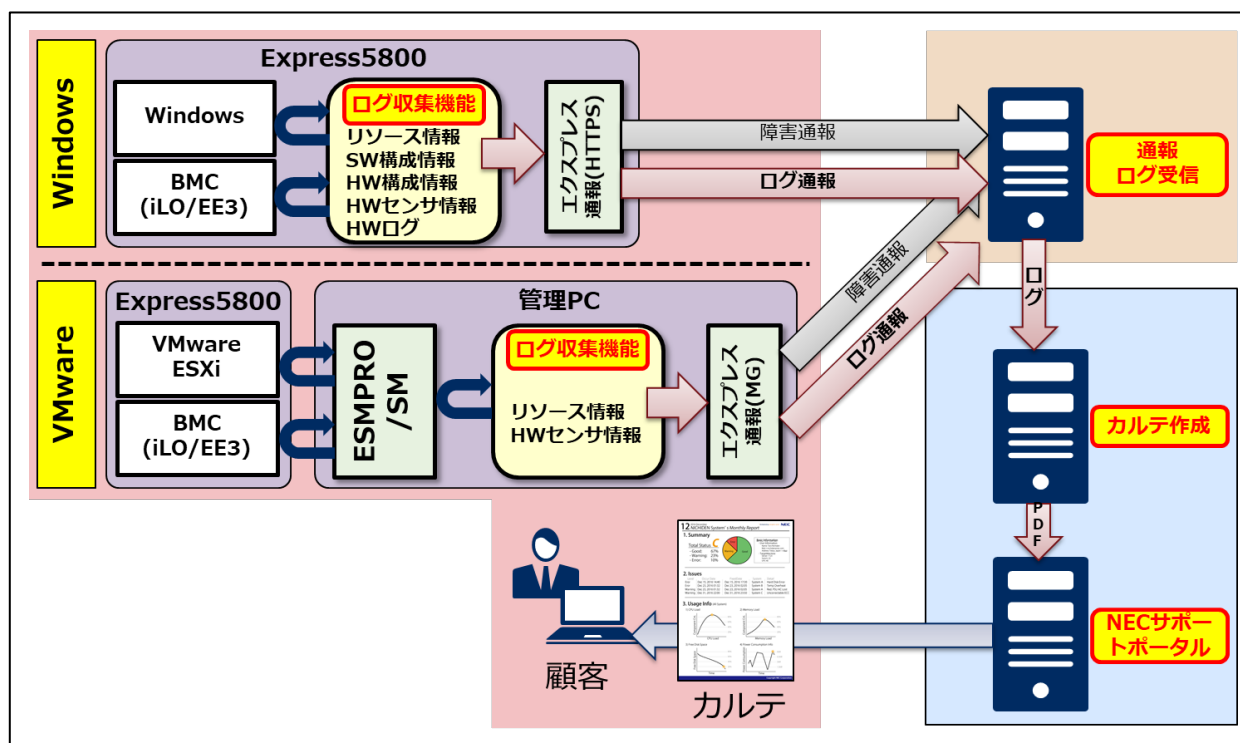
2.4. お問い合わせ先

サーバ診断カルテサービスのお問い合わせは以下メールアドレスまでお願いします。

- サーバ診断カルテサービスのお申込みおよびサーバの設定に関するお問い合わせ先
karute-uketuke@express.jp.nec.com
- サーバ診断カルテの内容・参照方法に関するお問い合わせ先
karute-tech@express.jp.nec.com

3.サーバ診断カルテのできる仕組み

エクスプレス通報サービスの経路を利用して装置の稼働状況や構成情報を NEC のデータセンタに送付し、それらの情報を解析/診断することで、サーバ診断カルテを生成します。



3.1. モジュールのインストール

サーバ診断カルテのご利用には、エクスプレス通報サービス(HTTPS)またはエクスプレス通報サービス (MG) のインストールと HTTPS 通報での開局作業、そしてサーバ診断カルテモジュールのインストールが必要です。

それぞれ以下より必要となるモジュールをダウンロードしていただき、各ドキュメントに従って設定をお願いします。なお、サーバ診断カルテモジュールは、対象サーバの OS によって、モジュールが異なります。

OS	モジュール
Windows	サーバ診断カルテモジュール (Windows 対応版) https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010106809
	エクスプレス通報サービス https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010102124
	ESMPRO/ServerAgentService (Windows 版) http://jpn.nec.com/esmsm/imp_info.html?#sas_win

VMware ESXi	サーバ診断カルテモジュール (VMware ESXi 対応版) https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010107805
	エクスプレス通報サービス (MG) 関連モジュール https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010100096
	ESMPRO/ServerManager (Windows 版) https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010103524

3.2. ログの収集タイミング

ログ情報は以下の間隔で採取します。

なお、OS やシステム構成によって、一部の項目が採取されない場合があります。

ログの種類	間隔	備考
CPU 使用率	10 分	－
メモリ使用率	10 分	－
Disk 情報(負荷)	10 分	－
Network 使用率	10 分	－
Process 情報	60 分	OS 上で起動しているプロセスの情報です。
Service 情報	60 分	OS 上のサービス情報です。
Port 情報	60 分	OS 上のポート情報です。
Disk 情報(残量)	60 分	論理 Disk の残量情報です。
温度	10 分	－
電圧	10 分	装置によっては収集しないモデルもあります。
FAN 回転数	10 分	装置によっては収集しないモデルもあります。
消費電力	10 分	装置によっては収集しないモデルもあります。
BMC ログ	10 分	Baseboard Management Controller のログです。
構成情報(ハードウェア / OS)	一週間	－
インストール SW 情報	一週間	OS 上にインストールされているソフトウェアの情報です。

3.3. ログの送信

ログは週に一度の間隔でエクスプレス通報サービスの HTTPS 通報の経路を利用して安全に NEC に送付されます。受信したログ情報は NEC のデータセンタで保持されます。

3.4.サーバ診断カルテの作成

サーバ診断カルテは翌月 1 5 日に NEC サポートポータルで公開されます。確認方法は 2.3 章をご確認ください。

4. サーバ診断カルテの説明

4.1. 概要

サーバ診断カルテでは、ユーザが使用するサーバに対する診断結果、サーバのリソース情報、ハードウェアセンサ情報、ハードウェア構成情報、ソフトウェア構成情報などを表示します。

なお、サーバ診断カルテにおいて、システムで定義/設定されていない項目または取得出来ない項目は、ハイフンとして表示されます。

大項目	概要	Windows	VMware
診断結果	サーバの診断結果を表示します。 総合診断結果では、ハードウェアに関する診断結果と、リソースに関する診断結果のまとめを表示し、それぞれの詳細な診断結果はその後の章で表示します。	○	○
リソース情報	CPU 使用率、メモリ使用率、ディスク使用率、ネットワーク使用率などの、OS から取得したリソース情報および診断結果を表示します。	○	○
ハードウェアセンサ情報	温度、電圧、FAN 回転数などのサーバの各種ハードウェアセンサから取得した情報および診断結果を表示します	○	○
ハードウェアログ情報	サーバのハードウェアログ情報および診断結果を表示します。	○	×
ハードウェア構成情報	CPU、メモリ、DISK などのサーバのハードウェア構成情報を表示します。	○	×
ソフトウェア構成情報	OS、サービス、ドライバ、アプリケーションなどの情報を表示します。	○	×

4.2. 診断結果

サーバ診断カルテの診断結果を表示します。

総合診断結果では、ハードウェア診断結果とリソース診断結果の概要を大きなアイコンを用いて見やすく表示し、診断結果の詳細はその後の章で詳しく表示しています。

Orchestrating a brighter world **NEC**

'18/ 1 サーバ診断カルテ


モデル： Express5800/D120h
型番： N8100-2285Y
号機番号： SN00001


1. 診断結果

1) 総合診断結果


ハードウェア診断結果




リソース診断結果






 要確認(警告)

 異常

2) ハードウェア診断結果

 要確認(警告)。対処は不要ですが、確認が必要な現象が発生しました。下の表を確認し、必要に応じて販売店または保守会社に相談してください。

 FAN	FANセンサの値が、警告を示す上限値を上回った期間があります。FANのグラフおよび診断コメントを確認してください。
 温度	温度センサの値は正常な範囲内です。
 電圧	電圧センサの値は正常な範囲内です。

診断レベル	アイコン	概要
要対処(異常)		要対処となる異常イベントが検出されたことを表示します。保守員による対処が行われていない場合は保守会社に連絡してください。
要確認(警告)		警告イベントが検出されたことを表示します。内容を確認し、必要に応じて対処の検討をお願いします。
要観察(予兆)		予兆イベントが検出されたことを表示します。内容を確認し、必要に応じて対処の検討をお願いします。
要観察(回復)		異常/警告/予兆イベントが検出されたが、回復したことを表示します。今後の運用の際には気にかけて頂くことをお勧め致します。
正常		正常な状態です。

4.3. リソース情報の表示内容

CPU 使用率、メモリ使用率、ディスク使用率、ネットワーク使用率などの、OS から取得したリソース情報を表示します。ディスク使用率に対しては診断結果を表示します。装置や OS によっては表示されない項目があります。

項目	概要
	活用方法
CPU 使用率	OS 上で取得した CPU 使用率として以下を表示します。 ユーザーアプリの使用率、システムの使用率、 IO 待ちの割合、アイドル時間の割合 横軸は時間、縦軸は使用率[%]を表示します。
	【ヒント】 CPU 使用率が定期的または定常的に高くなっている場合はサーバの性能不足が考えられますので、新サーバのご購入をご検討ください。
メモリ使用率	OS 上で取得したメモリ使用率を表示します。 横軸は時間、縦軸は使用率[%]を表示します。
	【ヒント】 メモリ使用率が定期的または定常的に高くなっている場合、サーバのメモリ不足が考えられますので、メモリの増強または新サーバのご購入をご検討

	<p>教えてください。</p> <p>数か月分のカルテを並べてみると傾向が見えてくる場合があります。</p>
ディスク I/O 情報	<p>OS 上で取得した論理ディスクへの Read/Write の 1 秒あたりのサイズや I/O 処理待ち数を表示します。</p> <p>横軸は時間、縦軸は 1 秒あたりの Read/Write サイズ[KB/Sec]を表示します。</p> <p>【ヒント】</p> <p>I/O 処理待ち数の増加はディスクの速度低下につながるため、定期的または定常的に高くなっている場合は、他ディスクへの処理の分散や新ディスクの増設などをご検討ください。</p>
ディスク使用率	<p>OS 上で取得した論理ディスクの使用率を表示します。</p> <p>横軸は時間、縦軸は使用率[%]を表示します。</p> <p>使用率が危険閾値(90%)または警告閾値(80%)を超えている場合や、翌月の使用率が 85%を超えることが予測される場合にその旨の診断コメントを表示します。</p> <p>【ヒント】</p> <p>ディスク使用率が定期的または定常的に高くなっている場合はディスクの増設をご検討ください。</p> <p>数か月分のカルテを並べてみると傾向が見えてくる場合があります。</p>
ネットワーク インタフェース リソース情報	<p>OS 上で取得したネットワークの送受信における 1 秒間のパケット数 および 1 秒間に送受信したデータサイズを表示します。</p> <p>横軸は時間、縦軸は 1 秒間のパケット数[packet/sec]、1 秒間の送受信バイト数[KB/sec]を表示します。</p> <p>【ヒント】</p> <p>送受信情報が定期的または定常的に高くなっている場合はネットワークインターフェースカードの増設またはネットワーク構成の変更をご検討ください。</p>
プロセス情報	<p>OS 上で取得した動作プロセス数を表示します。</p> <p>横軸は時間、縦軸はプロセス数を表示します。</p>
サービス情報	<p>OS 上で取得した動作サービス数を表示します。</p> <p>横軸は時間、縦軸はサービス数を表示します。</p>
ポート情報	<p>OS 上で取得した以下のポート数を表示します。</p> <p>ESTABLISHED (確立中)、LISTENING (待ち)、UNKNOWN (状態不明)</p> <p>横軸は時間、縦軸はポート数を表示します。</p>

4.4.ハードウェアセンサ情報の表示内容

温度、電圧、FAN 回転数などのサーバの各種ハードウェアセンサから取得した情報および診断結果を表示します。装置や OS によっては表示されないセンサがあります。

項目	概要
	活用方法
温度センサ	<p>ハードウェアから取得した温度情報およびしきい値を表示します。</p> <p>横軸は時間、縦軸は温度[℃]を表示します。</p> <p>しきい値は以下の項目を設定状況に応じて表示します。</p> <p>Upper NonRecoverable は回復不可能な上限値／</p> <p>Upper Critical は危険レベルの上限値／</p> <p>Upper NonCritical は警告レベルの上限値／</p> <p>Lower NonCritical は警告レベルの下限值／</p> <p>Lower Critical は危険レベルの下限值／</p> <p>Lower NonRecoverable は回復不可能な下限値</p> <p>【ヒント】</p> <p>吸気温度や筐体内の温度を確認し、しきい値を超えるまたは閾値に近づいてきた場合には、サーバ設置環境の空調設定の見直しをご検討ください。</p>
電圧センサ	<p>ハードウェアから取得した電圧情報およびしきい値を表示します。</p> <p>横軸は時間、縦軸は電圧[V]を表示します。</p> <p>しきい値は以下の項目を設定状況に応じて表示します。</p> <p>Upper NonRecoverable は回復不可能な上限値／</p> <p>Upper Critical は危険レベルの上限値／</p> <p>Upper NonCritical は警告レベルの上限値／</p> <p>Lower NonCritical は警告レベルの下限值／</p> <p>Lower Critical は危険レベルの下限值／</p> <p>Lower NonRecoverable は回復不可能な下限値</p>
電流センサ	<p>ハードウェアから取得した電流情報およびしきい値を表示します。</p> <p>横軸は時間、縦軸は電流[A]を表示します。</p> <p>しきい値は以下の項目を設定状況に応じて表示します。</p> <p>Upper NonRecoverable は回復不可能な上限値／</p> <p>Upper Critical は危険レベルの上限値／</p> <p>Upper NonCritical は警告レベルの上限値／</p> <p>Lower NonCritical は警告レベルの下限值／</p> <p>Lower Critical は危険レベルの下限值／</p> <p>Lower NonRecoverable は回復不可能な下限値</p>
FAN センサ	<p>ハードウェアから取得した FAN 情報およびしきい値を表示します。</p> <p>横軸は時間、縦軸は回転数の割合[%]を表示します。</p> <p>しきい値は以下の項目を設定状況に応じて表示します。</p>

	Upper NonRecoverable は回復不可能な上限値／ Upper Critical は危険レベルの上限値／ Upper NonCritical は警告レベルの上限値／ Lower NonCritical は警告レベルの下限值／ Lower Critical は危険レベルの下限值／ Lower NonRecoverable は回復不可能な下限値
電力センサ	ハードウェアから取得した電力情報およびしきい値を表示します。 横軸は時間、縦軸は電力量[ワット]を表示します。 しきい値は以下の項目を設定状況に応じて表示します。 Upper NonRecoverable は回復不可能な上限値／ Upper Critical は危険レベルの上限値／ Upper NonCritical は警告レベルの上限値／ Lower NonCritical は警告レベルの下限值／ Lower Critical は危険レベルの下限值／ Lower NonRecoverable は回復不可能な下限値

4.5.ハードウェアログ情報

サーバのハードウェアログ情報および診断結果を表示します

項目	概要
IML	iLO 搭載装置におけるハードウェアログ(IML)に対する診断結果です。異常レベル、警告レベル、予兆レベルに対して診断結果を表示します。すでに状態が回復されたイベントの場合は回復レベルとして診断結果を表示します。
SEL	EXPRESSSCOPE エンジン 3 搭載装置におけるハードウェアログ(SEL)に対する診断結果です。異常レベル、警告レベル、予兆レベルに対して診断結果を表示します。すでに状態が回復されたイベントの場合は回復レベルとして診断結果を表示します。

4.6. ハードウェア構成情報の表示内容

CPU、メモリ、DISK などのサーバのハードウェア構成情報を表示します
装置や OS によっては表示されない項目があります。

項目	概要
製品情報	サーバ名やシリアル番号を表示します。
BIOS 情報	BIOS のバージョン、リリース日を表示します。
メモリ情報	OS 上で見えるメモリの容量を表示します。
システムマネジメント情報	管理用コントローラの情報を表示します。
ベースボード情報	ベースボードの情報を表示します。
シャーシ情報	筐体の情報を表示します。
CPU 情報	物理 CPU の情報として Status、現在の動作クロック、コア数、スレッド数を表示します。 Status は主に OK(Enabled)、Error(Disabled)、Degraded、Unknown を表示します。
メモリデバイス情報	物理 DIMM の情報として物理メモリのサイズを表示します。
キャッシュ情報	CPU キャッシュの情報を表示します。
IDE コントローラ情報	IDE デバイスの情報を表示します。
SCSI コントローラ情報	SCSI デバイスの情報を表示します。
物理ディスク情報	物理 HDD の情報として ID、サイズなどを表示します。
RAID コントローラ情報	RAID コントローラの情報を表示します。
RAID 論理ディスク情報	RAID 構成の論理ディスクの情報として OS から見える容量と RAID レベルを表示します。
RAID 物理ディスク情報	RAID 構成の物理ディスクの ID、RAID コントローラの ID、物理容量を表示します。
ネットワークデバイス情報	ネットワークデバイスの情報として MAC アドレス、MTU サイズを表示します。
FDD 情報	接続されるフロッピーディスクの情報を表示します。
プリンタ情報	接続されるプリンタの情報を表示します。
シリアルポート情報	シリアルデバイスの情報として Status、ボーレートを表示します。
パラレルポート情報	パラレルデバイスの情報としてポート名、Status を表示します。
キーボード情報	キーボードの情報を表示します。
マウス情報	マウスの情報を表示します。
ディスプレイ情報	ビデオコントローラの情報を表示します。

4.7. ソフトウェア構成情報の表示内容

OS、サービス、ドライバ、アプリケーションなどの情報を表示します。

OS やシステム構成によっては表示されない項目があります。

項目	概要
	活用方法
OS 情報	Operating System の情報として OS 種別、Version などを表示します。
ESMPRO/ServerAgentService 情報	ESMPRO/SA の情報を表示します。
ESMPRO/ServerAgent Extension 情報	ESMPRO/SA Extension の情報を表示します。
Universal RAID Utility 情報	URU の情報を表示します。
更新プログラム情報	OS に適用されているパッチ情報を表示します。
	【ヒント】 未適用のパッチが無いか確認することで、セキュリティリスクの低減につながります。
サービス情報	動作しているサービスの一覧とその状態（STOPPED／RUNNING）を表示します。
	【ヒント】 意図しないサービスが無いか確認することで、セキュリティリスクの低減につながります。
ドライバ情報	動作しているドライバ名を表示します。
	【ヒント】 古いドライバが動作していないか確認することで、不要なトラブルを未然に防ぐことに繋がります。
ソフトウェア情報	動作しているアプリケーション名とバージョンを表示します。
	【ヒント】 意図しないソフトウェアがインストールされていないか、古いソフトウェアが動作していないかを確認することで、セキュリティリスクの低減や不要なトラブルを未然に防ぐことに繋がります。

以上